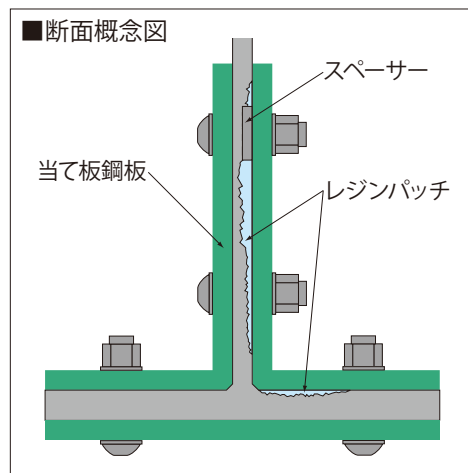
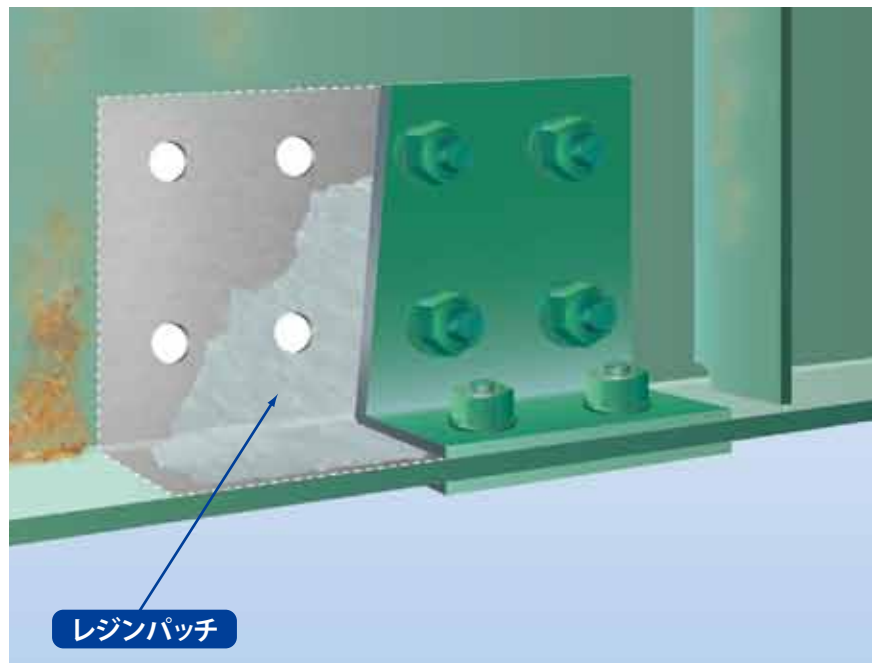


鋼材腐食部当て板補修用  
エポキシ樹脂系充填材

ショーボンド  
レジンパッチ



# ショーボンド レジンパッチ

## 用途

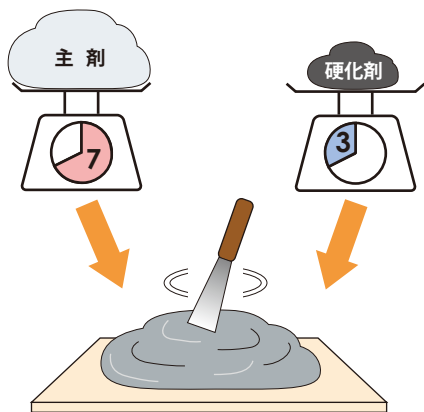
鋼道路橋における腐食部の、当て板補修で用いるエポキシ樹脂充填材。

### 【特徴】

- ①エポキシ樹脂による接着効果が期待できる。
- ②接合面にエポキシ樹脂を介することで、防食効果が期待できる。
- ③溶接による当て板補修に比べ、ボルト施工であるため、作業者の熟練度を問わないことから、高い品質を確保することができる。

## 使用方法

- ①ショーボンドレジンパッチは、主剤(赤い缶)と硬化剤(青い缶)に分かれており、使用時に混ぜ合わせます。
- ②主剤と硬化剤の配合は、7：3の重量比割合です。少量使用するときは、必ずハカリで計量してください。
- ③計量した主剤と硬化剤を、練り板の上で均一なグレー色になるまで、金ベラ等で十分に混合させます。
- ④混合すると徐々に硬化を始めます。可使用時間(表参照)を確認のうえ、可使用時間内に使い終わる量を混合してください。



## 施工法

### ①施工条件

施工温度は5℃以上とします。

### ②表面処理

接合面は、既設鋼板側を2種ケレン以上、当て板側を無機ジンクリッチペイントとすることを基本とします。(無機ジンクリッチペイントの塗装膜厚は75～115μとし、適用の際にはこれを超過することのないよう、確実かつ適正な膜厚管理を行う必要があります。)

### ③接着

接着する面(既設鋼板側)にレジンパッチを塗布し、すぐにボルト接合を行います。

### ④構造細目

ボルト本数、ボルト間隔、最小縁端距離等の構造細目は、「道路橋示方書・同解説Ⅱ鋼橋編」(社)日本道路協会 平成14年3月に準ずるものとします。

### ■可使用時間・養生時間・荷姿

ショーボンドレジンパッチ	冬用(W)		夏用(S)	
	5℃	15℃	20℃	30℃
可使用時間	150分	80分	60分	30分
養生時間	24時間	12時間	12時間	6時間
荷姿	10kgセット(主剤/7.0kg 赤角缶,硬化剤/3.0kg 青角缶)			

### ■社内規格値

試験項目	試験方法	単位	社内規格値
比重	JIS K 7112	-	1.70±0.10
粘度	垂直ダレ試験	-	ダレ認めず
引張強さ	JIS K 7113	N/mm <sup>2</sup>	20以上
引張せん断接着強さ	JIS K 6850	N/mm <sup>2</sup>	11以上

■備考：試験条件は20℃、7日間です。

## ショーボンドマテリアル株式会社

〒350-0833 埼玉県川越市芳野台2-8-10 TEL.049(225)5611(代表)

<http://www.sb-material.co.jp>

### ●取り扱い営業所